

## メキシコ – 新しい為替ヘッジ政策を発表 –

### ＜総額200億米ドルを予定＞

メキシコ中央銀行は2月21日（現地時間）、低迷するメキシコペソをサポートするための新しい為替ヘッジ政策（メキシコペソ買いに相当）を発表しました。ヘッジの規模は200億米ドルを予定されていますが、メキシコペソ建てで行われるため外貨準備の流出は伴いません。

声明文では「最近のメキシコペソは米ドルに対して大きく変動しているが、経済状況を反映したものではない」と指摘しています。

最初の為替ヘッジは3月6日に10億米ドル実施される予定です。

### ＜メキシコペソは上昇＞

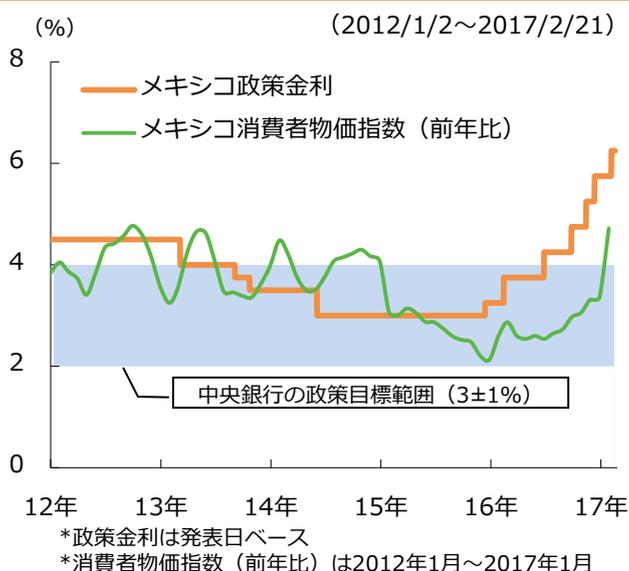
今回の発表を受けて、メキシコペソは対米ドル、対円で大きく上昇しました。2月21日の海外終値は1米ドル=20.01メキシコペソ、1メキシコペソ=5.6801円となっています。

### ＜今後の見通し＞

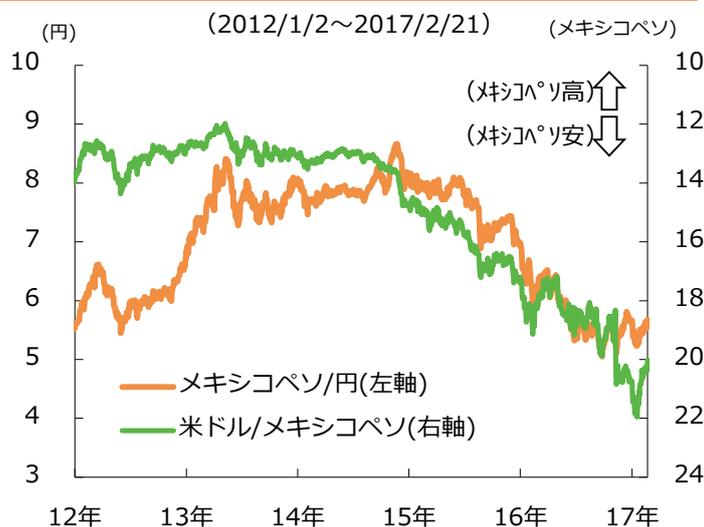
トランプ米大統領の誕生や米国とのNAFTA再交渉に対する懸念などから、メキシコペソが不安定な動きとなっていたことを受けて、中銀は1月に為替介入を行いました。今回発表された新しい為替ヘッジ政策は行き過ぎたメキシコペソ安のサポートになると予想されます。

メキシコペソが歴史的な水準まで低下していること、金利先高観が見込まれること、今後も政府・中銀による政策対応が予想されることなどがメキシコペソの支援材料となる見込みです。

### ＜インフレ指標と政策金利の推移＞



### ＜メキシコペソ為替の推移＞



出所：Bloomberg

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会